

漢文 論語

論語 〈全三回〉 「政治」

講師 渡辺恭子

学習の
ポイント ①

「政治」について述べた

三つの文章を読み味わいましょう

(1) 子曰、「道之以政、齊之以刑、……」

■ 政治には、「法律・刑罰」よりも「道徳・礼」が必要です。

● ポイント 「人間の悪い心」それ自体をなくすべき。

・ 「徳」…道徳。

・ 「礼」…礼儀。

(2) 葉公語孔子曰、「吾党有直躬者。……」

■ 「事実」よりも「自分の心」に正直であることが大切です。

● ポイント 真の正直とは、人情に忠実であること。

・ 葉公の村の正直者…たとえ父親でも罪を犯したら訴える。

・ 孔子の村の正直者…父親の犯した罪を隠す。

(3) 子路問君子。子曰、「修己以敬。」……

■ 弟子の子路が、孔子に「君子」について質問しています。

ポイント 孔子は「自己を磨くことの大切さ」を教えた。

・ 「己を修めて以って敬す」…謙虚な姿勢で精進する。

学習のねらい

『論語』の三回目。「政治」についてである。今回の学習では、まず初めに『論語』の「政治」に関する三つの文章を読み味わう。その後、「政治」に関する孔子の考え方についての理解を深め、更に「為政者の心構え」として、孔子が重視していたのは何かを考えていく。

学習の
ポイント ②

「政治に関する孔子の考え方」について

理解を深めましょう

・ 「己を修めて以って人を安んず」

…謙虚な姿勢で人の心を安らかにする。

・ 「百姓」…人民のこと。

・ 「病めり」…悩んだ。憂えた。

① 政治家が人民をまとめるときは、「徳(道徳)」と「礼(礼儀)」とによるのが良いと、孔子は言っています。

② 政治家が、その「徳」と「礼」とによって人民を治めたならば、人民の心には、悪いことを恥ずかしく思う気持ちが生まれ、自然に正しい道に進んで行くようになる、と孔子は言っています。

③ 孔子は、国家の治安安定のためには、まず肉親の愛情が必要不可欠だと考えていました。ですから、孔子は、親への真っ直ぐな思い、ひたむきな愛情をとっても評価しています。

※孔子の目指した政治とは、力で抑えるのではなく、人間の道徳心に直接働きかける政治なのです。

学習の
ポイント
3

「孔子が重視していた為政者の心構え」
について考えましょう

孔子の理想とする政治を行うには、どんな政治家が必要なの
でしょうか。

↓「学問的にも、人物的にも優れた、魅力ある人間性を持ち、

論語「政治」

子曰、「道之以政、齊之以刑、民免而無恥。道之以徳、齊之以礼、有恥且格。」

【為政】

口語訳
先先生がおっしゃることに、「法制や禁令によって人民を指導し、(従わないときは)、刑罰によって人民を支配しようとするれば、人民は(刑罰を)のがれることはかり考えて(肝心の悪い行いについて)恥ずかしく思うことがない。(それに対して)道徳によって人民を指導し、礼儀によって人民をまとめようとするれば、(人民は悪いことをするのを)恥ずかしく思って、自然に善に至るものである。」と。

葉公語孔子曰、「吾党有直躬者。其父攘羊、而子証之。」孔子曰、「吾党之直者、異於是、父為子隱、子為父隱、直在其中也。」

【子路】

葉公が孔子に告げて言うことに、「私の村里には、正直者の躬さんという者がいる。自分の父親が、紛れ込んできた羊を盗んだのを見て、子供である彼は、父親の罪を証言しました。」と。(すると)孔子は言った、「私の村里の正直者というのは、あなたの話の人とは違い、父親は自分の子のために(その罪を)隠し、子は父親のために(その罪を)隠す。正直と言うことは、(自然と)そうした中に備わってくるものである。」と。

子路問君子。子曰、「修己以敬。」曰、「如斯而已。」子曰、「修己以安百姓。修己以安百姓，堯舜其猶病諸。」

【憲問】

子路が君子について(孔先生に)尋ねた。先生がおっしゃった、「自己修養を積んで、自分を慎み深くすることだ」と。(子路が)言った、「それだけでよいのでしょうか。」と。(先生が)おっしゃった、「自己の(心の)修養を積んで人の心を安らかにしてやることだ。」と。子路が言った、「それだけでよいのでしょうか。」と。(先生が)おっしゃった、「自己修養を積んで人民の心を安定させることだ。自己修養を積んで人民の心を安定させることは、堯・舜(のような理想的な天子)でさえ苦勞なされたことだ。」と。

人民全体の幸福をも考えられる人」が必要でした。

※このような素晴らしい「君子」のもとで愛にあふれた理想的な社会ができることを、孔子は強く望んでいたのです。

●「君子」： ①徳を備えた立派な人。②それを目指して努力している人。③努力の結果、政治を担当する立場に立つ人(為政者・支配者)。